

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和8年1月1日～令和8年1月25日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 8 年	15	4	2	3	11	20
令 和 7 年	4	1	0	2	3	6
前 年 同 期 比	11	3	2	1	8	14

2 山域別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	8	53.3%	2	2	1	6
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	8	53.3%	2	2	1	6	11
中央アルプス	1	6.7%	0	0	0	1	1
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	3	20.0%	1	0	1	3	5
その他の山岳	3	20.0%	1	0	1	1	3
計	15		4	2	3	11	20

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	3	20.0%	1	0	2	0	3
転 倒	1	6.7%	0	0	1	0	1
病 気	2	13.3%	2	0	0	0	2
道 迷 い	3	20.0%	0	0	0	6	6
落 石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪 崩	2	13.3%	0	2	0	0	2
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	1	6.7%	0	0	0	1	1
不明・他	3	20.0%	1	0	0	4	5
計	15		4	2	3	11	20

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	1	0	0	1	10 66.7%	0	0	0	0	0	3 60.0%	1	13 65.0%
20代	1	0	0	7	8		0	0	0	2	2		10	
30代	1	0	0	0	1		0	1	0	0	1		2	
40代	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
50代	1	0	1	0	2	20.0%	0	0	0	0	0	0.0%	2	15.0%
60代	0	0	0	2	2	2	1	0	1	0	2	2	4	4
70以上	0	0	0	0	0	13.3%	0	0	0	0	0	40.0%	0	20.0%
計	3	1	2	9	15		1	1	1	2	5		20	
比 率	75.0%						25.0%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（1/19～1/25）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
1月18日	北アルプス 小遠見山	男	33	死亡	転落	先々週遭難：4人パーティで小遠見山北側の山中をスキー滑走中、沢に転落し、行方不明。（1/19遺体で発見）
1月19日	小谷村 千国乙地籍親沢	男	29	無事救出	道迷い	4人パーティでバックカントリーを滑走中、道に迷い、行動不能
		男	26	無事救出	道迷い	
		男	20	無事救出	道迷い	
		女	26	無事救出	道迷い	
1月19日	ハケ岳連峰 硫黄岳	男	24	無事救出	その他	3人パーティで硫黄岳を登山中、技量不足により、行動不能
		女	26	無事救出	その他	
		男	26	無事救出	その他	
1月25日	白馬村 神城地籍山中	男	確認中	行方不明	雪崩	3人パーティでバックカントリーを滑走中、雪崩により、行方不明
1月25日	小谷村 千国乙地籍山中	男	61	無事救出	その他	単独でバックカントリーを滑走中、新雪により、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では4件の山岳遭難が発生し、うち3件はバックカントリー中の遭難でした。先週は、強い寒波の影響により、県内では平地でも積雪があり、豪雪地帯と言われている県の北部や北アルプスなどは積雪が急激に増えています。

スキー場内で雪崩のリスクが高い場合は、営業時間前に雪崩を誘発して発生させるなど、管理者が雪崩をコントロールしてリスク管理をしていますが、スキー場管理区域外（バックカントリーエリア）では、そのような管理がされていません。バックカントリー滑走には、雪崩に対する知識や搜索、掘り出しに必要な雪崩ビーコン、プローブ、スコップを携行し、コンパニオンレスキューの技術が必須です。

スキー場の管理区域外滑走中にアクシデントがあり救助要請した場合は、全て山岳遭難です。救助活動は、遭対協救助隊など民間の救助隊にも出動要請することから、救助費用が発生します。